ATLAS
-次世代クラウド証明書認証局 (CA)-

Atlasは電子証明書管理に負荷を抱える組織の社内IT管理者、セキュリティチーム向けソリューションです。

公開鍵基盤(PKI)が情報セキュリティにおける最も強力な基礎の一つであると一般的に認識される一方で、依然として、多くの企業にとって電子証明書の導入や管理には課題が残されています。世界中の企業が、電子証明書関連の過失によるコストや違約金で多額の損失を被っています。電子証明書を運用していくには、高度なトレーニングが必要となり、必要なスキル・経験を有する人材が大幅な不足状態にあります。

加えて、企業規模の拡大に伴い電子証明書管理の複雑性も増しています。管理する ID 数だけでなく、どういったデバイスにインストールするのかなど考慮すべきことが増加しています。一般的な企業では 50 から 70 のプログラムやプラットフォームを運用し、それを管理する社内の IT 管理者やセキュリティチームは環境の維持に苦闘しています。更に、IoT と DevOps(デブオプス)市場の急成長に伴い、電子証明書の利用例も継続して増大しています。IoT デバイス数は 2027 年までに 400 億を超えると予想されており、その全デバイスのセキュリティが担保される必要があります。

情報セキュリティ対策として電子証明書を導入する組織や企業に必要となってくるのは、ますます増加する電子証明書の発行・管理が簡単に行え、且つ柔軟性と拡張性を兼ね備えた信頼できる電子証明書を提供するソリューションです。

Atlasは電子証明書管理に負荷を抱える組織をサポートします。

Atlas は拡張性の高いアーキテクチャを採用した高速での大量発行が可能な証明書認証局(CA)で、電子証明書運用に関する自動化を提供し、企業や組織の電子証明書の利用方法をシンプル化します。Atlas は電子証明書管理の負荷を抱える企業や組織の悩みを軽減するために開発されました。また、電子証明書自動化の次世代ソリューションである Atlas は、社内 IT 管理者がユーザ、デバイス(PC, モバイル)、IoT デバイス、サーバなど多岐にわたる ID を柔軟に管理・認証することを可能にします。さらに、鍵管理、ディレクトリ統合、多様なエンドポイントをカバーするために必要となる複数のプロトコルのサポートというような複雑な作業の心配はありません。

導入メリット

■ 電子証明書運用の負荷をサポート

高度な電子証明書管理機能を持つため、お客様はご自身でプライベート証明書認証局(CA)を構築し運用する場合に必要となる社内 IT 管理者のトレーニングなど、複雑なセキュリティ実装の負担がなくなります。

■ PKI基盤によるセキュアなID認証

オンラインの際に PKI を活用して認証するため、デバイスとクラウドサービス等の間でセキュアな環境と信頼性を築けるのと同時に、お客様のエコシステム内で伝送される全データの整合性、ソース、および暗号化を保証します。

■ 大量・高速の電子証明書発行

他社認証局ではバンド幅やハードウェア機能により制限があります。Atlas は高可用を目的として開発されたため、遅延や証明書発行上のボトルネックがありません。そのため高速で大量の証明書発行が可能となります。

■ 長期的なコスト削減を提供

Atlas 導入はお客様の組織で電子証明書をご利用いただく上で、最もコスト効率の良い方法です。コンプライアンス違反による罰金や改善措置に関連する費用、サービスの中断や停止による収入減の可能性の回避を支援をし、予期せぬ証明書の期限切れや鍵の紛失によってお客様の評判が損なわれてしまうリスクを防ぎます。

■ 二要素認証と暗号化関連の要件を充足

お客様の組織内セキュリティや厳格な業界規制に準拠するため、2 要素認証や転送時・保存時のデータ暗号化要件への準拠をお手伝いします。

ATLAS -次世代クラウド証明書認証局 (CA)-

Atlasのできること

Atlas は GMO グローバルサインが提供する全てのソリューションの新しいプラットフォームとなり、お客様の抱える電子証明書関連の取り組みに付随する負荷を減らします。

Auto Enrollment Gateway（AEG） Powered by Atlas 機能紹介

AEG 6.3 はお客様の Active Directory と Atlas を直接繋ぐゲートウェイとして機能し、実質的にお客様のネットワーク上のあらゆるエンドポイントをカバーします。AEG と Atlas を一緒にご利用いただくことで、OS やプラットフォームの種別を問わず、電子証明書の登録・発行・インストールがこれまでになく容易になります。

その他の主要な機能・特長：

- ポータルナビゲーション、設定、管理を効率化するUIのアップデート
- 証明書の発行・ステータスのレポート機能
- Linux統合を改善するACME v2をサポート
- 大部分のエンドポイントへ殆ど全ての種類の証明書が発行可能
- 発行機能の改善がさらに高認証のパブリック証明書を可能に
- セルフサービスによる鍵復元（Self-Service Key Recovery）
- SCEP対応によるMicrosoft Intuneのサポートレベル向上
- DevOpsユースケースの対応

GlobalSign by GMO
GMOグローバルサイン株式会社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3　渋谷フクラス
TEL：03-6370-6500　https://jp.globalsign.com/
グローバルサイン 検索